



ボッシュ、人とくるまのテクノロジー展 2019 に出展 世界初出展の次世代レーダーなど、自動化、電動化、 ネットワーク化のためのソリューションを多数展示

2019年5月13日
C/CGR-JP-2019-10

- ▶ 世界初出展:より複雑な環境で正確な検知を可能にする次世代レーダー
- ▶ 日本初出展:トランスミッションの効率と加速性能を向上させる
トランスミッション用電動オイルポンプ
- ▶ ブース番号:#257

東京 – ボッシュ株式会社は、2019年5月22日(水)から5月24日(金)まで3日間、横浜で開催される「人とくるまのテクノロジー展 2019」に出展し、より安全でストレスと排出ガスの少ない未来のモビリティに向けた幅広い製品・技術をご紹介します。

世界初出展:次世代レーダー

レーダーは、車両周囲の環境を検知し、ACC(アダプティブ クルーズ コントロール)や衝突被害軽減ブレーキなどの先進運転支援システム、また自動運転機能を可能にするセンサーです。ボッシュは、これまで累計 2,000 万台以上のレーダーを生産し、マーケットリーダーの地位を築いています。本展示会では、世界に先駆けて初めて次世代のレーダーを展示いたします。次世代のレーダーは、現行品と比較して性能が向上し、複雑な環境においてもより正確な検知が可能になりました。例えば、視野角が拡大したことにより、交差点進入時に他の車両や歩行者をより早く正確に検知できるようになりました。その他にも、高さ方向の検知性能が向上したことで、誤作動のリスクを下げ、より安全な運転支援機能を実現できるようになりました。また、次世代のレーダーは、現行品から約 30%小型化され、厚みは 33mm から 19mm に薄型化されたことにより、搭載の自由度が高まりました。

ボッシュは、2018年の「人とくるまのテクノロジー展 横浜」において、世界で初めて次世代の車載カメラを公開しました。次世代のカメラは、画像を並行して処理するために複数の技術的経路(パス)を駆使する独自のマルチパスアプローチを採用しています。特に、ディープラーニングの手法を採用することによって、白線のない環境下でも路肩

の駐車車両などの物体やアスファルト、砂利、草といった道路の境界を認識できるようになりました。更に、歩行者や車両などの物体認識性能も向上しました。

ポッシュは 1998 年から運転支援システムの開発を行っており、レーダーとカメラを組み合わせるセンサーフュージョンの実績も豊富です。次世代のセンサー導入で、よりロバストなサラウンドセンシングが可能になり、信頼性の高い運転支援システムと自動運転を実現可能になります。なお、次世代のレーダー、カメラともに 2019 年に発売される自動車メーカーの量産車に採用される予定です。

日本初出展:トランスミッション用電動オイルポンプ

従来、変速のための油圧を制御するトランスミッションポンプは、エンジンから動力を得ており、エンジンの効率を低下させる要因のひとつでした。ポッシュは、本展示会でエンジンの動力ではなく電動で制御できるトランスミッションポンプをポッシュとして日本国内で初めて展示いたします。トランスミッションポンプの電動化により、エンジン停止時にもオイルの供給を続けることが可能となります。

その具体的なメリットの例として、ハイブリッド車が EV モードで走行中に、オイルをトランスミッション系の制御・冷却・潤滑のために供給し続けることができますようになります。同様に、普通車でもコースティングモード時にエンジンをより長く停止させ、コースティングの距離を飛躍的に延ばすことが可能となります。これらは、最終的に環境性能や燃費性能の向上に貢献します。ポッシュのトランスミッション用電動オイルポンプは、自動車産業で要求される高いレベルの効率・音振特性を有しております。現在開発中のポンプは 12V 仕様ですが、48V への対応も可能です。

その他の製品・技術を含む展示内容一覧

電動化ソリューション

- [48V バッテリー](#)
- [eAxle\(電動化車両用車軸\)](#)
- ハイブリッド専用 CVT
- 車載コントロールユニット
- 電動トランスミッションポンプ
- iBooster(電動ブースター)と ESP による新ブレーキシステム
- [ワイパー コンパクト キット](#)
- [ジェットワイパー](#)
- [汎用小型ブラシレスモーター](#)
- [クーリング ファン モジュール](#)

自動化ソリューション

- 次世代レーダー
- 次世代車載カメラ

- [電動パワーステアリング Servolectric®](#)
- コネクテッド ディベロップメント

ネットワーク化ソリューション

- [セントラルゲートウェイ](#)
- [パーフェクトリーキーレス\(デジタルキーの管理ソリューション\)](#)
- コネクテッドパーキング

二輪車向けソリューション

- 二輪車向け安全運転支援システム(アドバンスト ライダー アシスタンス システム)

報道関係対応窓口:

角谷 清彦、松本 有可

電話: +81-3-5485-3393

日本のボッシュ・グループ概要

日本のボッシュはボッシュ(株)、ボッシュ・レックスロス(株)、ボッシュ パッケージングテクノロジー(株)その他の関係会社から構成されます。ボッシュ(株)は自動車用パーツの開発、製造、販売そしてサービスの業務を展開し、また自動車用補修パーツや電動工具も取り扱っています。ボッシュ・レックスロスは油圧機器事業、FA モジュールコンポーネントやその他のシステムの開発と生産を行い、日本の産業機器技術に貢献しています。ボッシュ パッケージングテクノロジーは包装機械メーカーおよびインスぺクション・テクノロジーの開発を行う会社です。さらにボッシュセキュリティシステムズ株式会社は、人命や建築物、財産などを守る製品とソリューションの提供を主要な事業としています。2017 年の日本のボッシュ・グループの第三者連結売上高は約 2,950 億円で、従業員数は約 6,600 人です。

世界のボッシュ・グループ

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2018 年の従業員数は約 41 万人 (2018 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 785 億ユーロ (約 10 兆円*) を計上しています。現在、事業はモビリティ ソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出しています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 460 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 130 の拠点で約 6 万 8,700 人の従業員が研究開発に携わっています。

*2018 年の為替平均レート、1 ユーロ=130.92534 円で計算

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)